

村小だより

第2号

香美町立村岡小学校
令和5年5月23日(火)

学校教育目標「自らを磨き ふるさとを創る たくましい子どもの育成」
～ 笑顔・元気・チャレンジ ～

温故知新

5月8日より新型コロナウイルスが感染症として5類となり、学校における感染症の位置づけも第二種となりました。第二種学校感染症は、医師の判断が大前提ですが、インフルエンザと同様に感染防止のために決まった期間、登校を控える(出席停止)という対応になります。今までのコロナ感染防止は、濃厚接触期間も視野に入れていましたが、その考えによる対応はしないようになっています。そして、マスク着用も求めないことが基本となっています。すぐに切り替えられるものではないかもしれませんが、「新しい生活様式」と言われてきたものも見直し、学校生活、教育活動を進めていきたいと考えています。今まで、「マスクは大事」、「濃厚接触にあたらぬか」など、いろいろと考えてきたことは何だったのかと思うこともありますが、この3年間を超えた日々が無駄だとは思いません。

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身 茂会長が、感染症5類移行について共同通信インタビューを受けた質疑応答の中で話されていたことです。

総括として「(コロナ対応に)課題はあったが、状況に応じて適宜修正したこともあって、欧米に比べて死者数が少なかったことは評価できる。」と答えられた後、記者から「教訓を生かすには」という質問がありました。

何が起きたのかの検証が必要。政治家なら国会で何を言ったのか、政府が何をしたのか。専門家は、どんな提言をどのような考えで出したのか。3年間の経験を検証することは、ものすごく重要。短期間で終わるのではなく、残された記録を基に、じっくり分析する。それが、次のパンデミックに備えるためには、不可欠だ。

コロナ感染が無くなり、リセットして3年前に戻すという安直なものではなく、子どもたちにとって何が大事で、それに向けてどう工夫するかとこの3年間、考えてきました。学校における今までの伝統、習わしが続いてきたことには意義があります。しかし、「前例踏襲」という考えを見直し、改めた3年間の日々も、きっと価値深いものになると思います。新たな一歩の始まりと考えることが大切ではないでしょうか。

「温故知新」という言葉、大事にしていきたいです。

6年 修学旅行 広島へ

G7 サミットが開催される1週間前の5月11日から12日に1泊2日で広島に修学旅行へ行ってきました。多くの修学旅行団や海外の人が平和記念公園を訪れていました。原爆の子の像の前では、セレモニーの順番待ちの状態でした。私たちの前は、大人数の学校で圧倒される雰囲気でした。代表の子どもたちを中心にセレモニーが進められていました。私たちの番になり、まず私からは「各国のリーダーを日本に集めて行われるサミットという話し合いがどうして広島の地で行われるのか。それは、世界の中で原爆を落とされた国は、ただひとつ日本だけであり、この広島という地で平和について考えてほしい思いがある。」と話しました。村岡小学校6年生12人は、マスク越しではありませんが、大きな声で平和への祈りを込めて堂々と「誓いの言葉」を宣言しました。周りの多くの人達から大きな拍手をいただきました。これは普段の学校生活の中で、間隔を広げコロナ感染防止対策しながらも相手へ伝える力を大事にしてきたことが、生かされている証拠だと思います。



ホテルの夕食、朝食の場面では、円テーブルでお互いの顔を見ながら、談笑しながら食事をとっている光景をみて、微笑ましく思いました。宮島でのお土産探しは、家族の喜ぶ顔を想像しながら満喫していたようです。「学ぶときは、しっかり学び、楽しむ時は、しっかり楽しむ」という修学旅行の学級のめあてが果たせた2日間であったと思います。

来週は、4泊5日の自然学校。5年生もいい体験、いい学びができることと期待します。

6月の行事予定

- 1 (木) 衣替え 自然学校4日目
- 2 (金) 児童集会 自然学校5日目 ALT
- 5 (月) PTA あいさつ運動(～9日)
- 7 (水) 読み聞かせ プール掃除 委員会
- 8 (木) 交通安全教室
- 9 (金) ALT
- 11 (日) 学年PTA2年
- 12 (月) 村岡小代5年チャレンジ
- 13 (火) 村岡小代1・2年チャレンジ
- 15 (木) 村岡小代3・4年チャレンジ

- 16 (金) 児童集会 ALT プール開き
村岡小代6年チャレンジ
- 17 (土) 学年PTA6年
- 21 (水) クラブ PTA本部役員会 19:30
- 23 (金) なかよし集会 ALT
飛行機社会見学4年
- 27 (火) 4校チャレンジ1年
- 28 (水) 代表委員会
- 29 (木) 4校チャレンジ3年
- 30 (金) 児童集会 ALT
地区別懇談会

(文責 校長 中田 斉)